



古河瓦版

株式会社 古河

TEL: 03-3623-7176

FAX: 03-3624-4401

○こちら古河営業部

新しい元号「令和」がスタートしました。お祝いムードの改元で、まるで新年を迎えたかのように日本中がリセットされた雰囲気になっています。以前から新元号に変わるにあたり「紙の特需があるのでは？」という憶測が業界内で聞かれましたが、皆様いかがですか？周囲にヒアリングしたところ特需は聞いたことが無い、仮に有ったとしても紙が無いという声が多く聞かれました。さて当社はというと、令和元年はリセットよりもリスタートという気持ちで、また一気に盛り上がる特需より地道にコツコツと、を信条にこれまで以上に紙の魅力を伝え皆様のお困りごとを解決していきたいと考えています。令和も株式会社古河をどうぞ宜しくお願い致します。（飛田智弘）

○紙商人のつぶやき

「紙ストロー体験レポート」

第14号でストローの『脱プラ』の事を書きました。自分で使う機会はなかなかないだろうと思っていたところ、地元の喫茶店にあったので使ってみました。灯台下暗しとはこのことですね。この日は暑かったのでアイスコーヒーで実験。使い始めは特に問題なく飲めましたが、食事をしながら10分ほどしたら、浸かっている部分からグニャグニャになってしまいました。ネット通販を調べてみると真っ白から柄の入ったものまで色々ありましたが、耐久時間が30分の製品もありました。炭酸飲料をかき混ぜると吹きこぼれるという注意書きがある製品も。普及にはまだまだ課題がありそうですが、紙業界の人間としては微力ながら応援していきたいと思っています。（飯塚大輔）

○ちょっとそこまで

遠くまで（京都編）御朱印デビュー

皆様10連休はどの様に過ごされましたか？私は家族で京都に行ってきました。天気はイマイチでしたが、流石に京都はすごい混雑でした。今回、妻が寺社巡りを希望していたので、流行にのって御朱印デビューをしました。結果から言いますと3日間で5つの御朱印をいただきました。御朱印の魅力は、なんといっても寺社名や本尊名が手書きされている事。達筆な御朱印を見ているだけでも、ご利益を感じます。3日間で5つは少ないのでは？と思われるかもしれませんが、御朱印をいただくのにテーマパーク並みの2時間待ちを経験しました。きっと5月1日だったからでしょう。行列を見た瞬間に妻と子ども(4歳)は「パパお願いします!」と、神社内を散策に行ってしまいました。「パパ今どの辺り?」とか「まだ?」といった、なんとも罰当たりな連絡がきましたが、孤独と雨に耐えながら無事にいただくことが出来ました。パパ頑張りました。（古河英徳）



編集後記

当社にご来店、お電話を頂いた時に聞きなれない声にあれ?っと思われた方もいらっしゃると思います。2名が新たに当社の一員になりましたのでご紹介いたします。最初のご紹介は2階で経理をする春日部出身でクラシック音楽を愛する金子さんです。以後お見知りおきをよろしくお願いいたします。もう1名は次号にてご紹介致します。（荒牧龍也）

弊社の情報はホームページでもご確認ください。 <https://furukawa21.jp/>